

○受胎月齢別初産空胎日数

受胎した月齢別に初産時の平均空胎日数を見ていくと、12ヶ月齢から15ヶ月齢にかけて平均空胎日数は低い傾向にあり、それ以降は受胎月齢が長くなるほど初産時の平均空胎日数も長くなる傾向が見られた。

○受胎月齢別平均乳量

受胎月齢別に305日乳量における平均乳量を比較してみると、まず初産では受胎月齢が長くなるほど平均乳量が高くなる傾向がみられ、10～11ヶ月齢受胎分の平均乳量が他の月齢と比較すると1～2%と比較的大きな差が見られた。

次に2産目では、概ね各受胎月齢の平均乳量は同程度で推移しているが、11ヶ月齢に関してはまだやや低い傾向が見られた。

※10ヶ月齢受胎分はデータ数が減少したため除外する。

3産目では、11ヶ月齢受胎分の平均乳量が他の月齢と同等になったが、一方で未経産時受胎が遅れた18～20ヶ月齢受胎分の平均乳量が比較的低い傾向が見られた。

6. 考 察

本調査結果を見ていくと、まず当初の予想以上に11ヶ月齢～12ヶ月齢の授精が多く行われており、その後の分娩状況については、若齢で受胎した個体はやはり死産率が高くなっているが、その内訳を見ると決して難産が多い訳ではなく、その他の要因による死産が多い事から、今後はそれらを詳しく調査する必要がある。また、平均乳量に関しても若齢受胎分は比較的乳量が高い傾向にあるが、若齢受胎分の中にも高い能力を発揮している個体がいる。今後はそういった個体が未経産時の授精の際こういった状態にあったか等の調査を行う事により明確な傾向がつかめると考えられる。今回の調査結果を見ていくと、総合的に見てやはり若齢での授精はリスクを伴うと考えられるため、今後現場で生産者に説明する上で役立てたい。

各授精月齢ごとの受胎率(90日NR)

N = 105,394

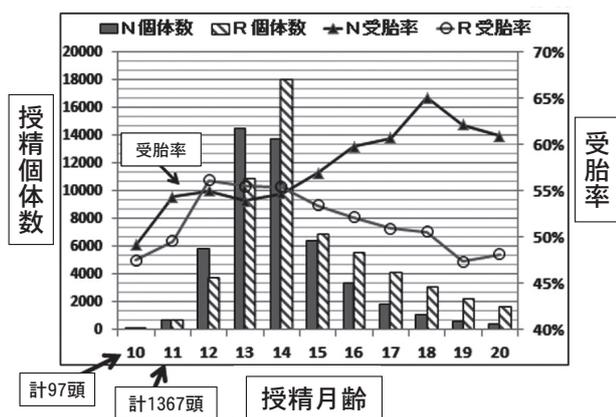


図 1

受胎月齢ごとの死産割合

N = 24,568

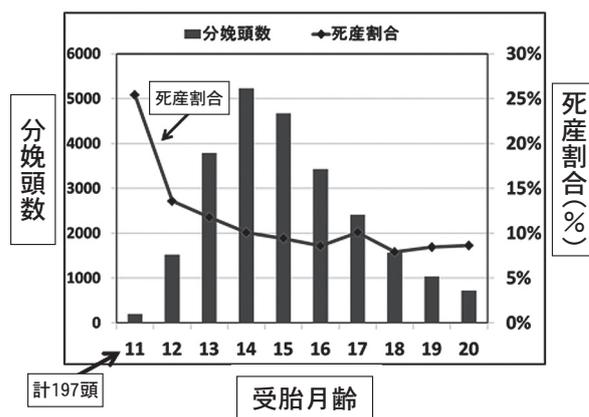


図 2

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。

本別町農業協同組合畜産部畜産課

電話 (0156) 22-3160 FAX (0156) 22-3034

E-mail : cikusan@ja-hon.nokyoren.or.jp